



# 良元通信

令和6年(2024)10月16日号  
校長 狩野 洋光

## みんなにとって良い、みんなが元気になる運動会となりますように

明日は、子どもたちが楽しみにしている運動会です。9月中旬からがんばってきた練習の成果を発揮し、一生懸命に頑張る姿をぜひご覧ください。運動会は子どもたちの頑張りを認め、褒める、大、大、大チャンスです。勝った姿、応援する姿、嬉しい表情、音楽にピタッと合わせて動く姿、真剣な表情…だけではありません。悔しがる姿、音楽からワンテンポずれちゃう姿も、「良かったよ」と褒めてあげてください。悔しがるのは頑張った証拠です。音楽からずれるのはご愛嬌です。「あなたの愛らしいところだよ」「良かったよ」と頑張りをねぎらってくださいね。

走る子が得意な人、得意ではない人がいます。踊るのが好きな人、苦手な人がいます。「走るのが好きだけど、遅いんだ…」「踊るのが好きなんだけど、人前で踊るのは苦手なんだ…」いろんな人がいて当たり前です。運動会は、運動が得意な人のためだけにあるのではありません。いろんな人がいて、いろんな人同士で、楽しむことができる運動会であってほしいなど考えています。

以前、学級担任をしていた時、Aさんのお母さんが、お子さんのお友だちに声をかけているのを見かけました。「ごめんなあ、うちの子と同じチームで…」声をかけられた子は「だいじょうぶだよ」といったことを話していたように思います。走るのが苦手だったAさん。走る距離を短くして参加しました。Aさんが頑張れる距離にしました。同じチームの足の速い子が追い上げましたが、結果は一番ではありませんでした。

一番にはなれなかったけど、同じチームのお友だちの見事な追い上げに、観客が大声援をおくっていたことを覚えています。

今の6年生は、今年も、車いすのお友だちのリレーの参加方法を話し合いました。安全面も考えたそうです。いろんな人同士で、楽しむことのできる運動会にするための話し合いでです。勝つことにこだわりがある人もいたことでしょう。そんな中、子どもたちで話し合いが行われ、たくさんの正解の中から、今回の正解を見つけました。値打ちのある話し合いでです。

いろんな人同士が、いっしょに楽しむことができるよう、活動できるようにすることを「合理的配慮」といいます。「配慮」というと「してあげよう」という感じがするので、「環境調整」(こうしたら困り感が減るんじゃない)という人もいます。

運動会だけでなく、学校生活が、みんなにとって良い、みんなが元気になる環境づくりを子どもたちと、地域、保護者のみなさんと一緒に考えていきたいです。

## 10月19日(土)の天気は…

- 明日の朝、雨が降っていなければ運動会を実施する予定です。
- ただし、雲の動きや今後の予報から、翌日に延期することも考えられます。
- 延期となる場合、6:30 ごろにお知らせします(スクリレ・ミマモルメ・ホームページ)。
- また、実施となった場合、プログラムの順番の変更や、一部のプログラムの延期(平日実施)といった対応をとることもあります。ご了承ください。
- 降雨のため延期となった場合、日曜日の気温によっては、朝からテントを立てることも考えられます。もし、テントを立てことになりましたら、お手伝いいただけますと、大変助かります。

**みんなにとって良い、みんなが元気になる運動会となりますように**